

保健体育科『生涯スポーツ』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	3	単位数	2	授業形態	一斉
教科書 (出版社)	なし		副教材等 (出版社)	なし	
学習目標	自身や他者の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、健やかな心身の育成に資するとともに、スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指したニュースポーツなどの課題研究を通して、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。				
学習方法	○課題研究や実習などの知識を活用する学習活動を行う。 ○実習、体験、発表などの探究的な活動を重視するとともに、言語に関する能力の育成を図る。				
学習 評価	評価の観点	評価の観点の趣旨			
	ア 知識・技能	地域におけるスポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。			
	イ 思考・判断・表現	地域におけるスポーツの推進及び発展に必要な自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。			
ウ 主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与しようとする態度を養う。				
評価方法	①	②	③		
観点	観察	生徒との対話	ワークシート		
ア	○	○	○		
イ	○	○	○		
ウ	○	○	○		

学習計画

学期	課題	学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ		
前期	(1) スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展 (2) スポーツの効果的な学習の仕方 (3) ニュースポーツの実践	・スポーツの歴史、ルール、技術、用具の進化などの専門知識を深め、自身の技能を向上させるための効果的な学習方法を理解する。 ・体力や技能の差を越えて、誰もがスポーツを楽しめるようにするとともに、運営や地域活動を通じてスポーツの普及と発展に貢献する力を身に付ける。	○	○	○	(1) 自身の目標に合わせて高度な技に挑戦し、科学的な知識や効率の良い練習、トレーニングにより、体力と技術を高めることができる。また、動画や観察を通して自身の課題を見つけ出し、様々な練習方法から自分に合った方法を選んで、計画的に取り組むことができる。 (2) スポーツの歴史や文化、効果的な練習法、将来にわたる楽しみ方、そして安全な指導法について、科学・社会・文化など幅広い視点から学んで深い教養を身に付けている。また、活動中の危険を素早く察知して事故を防ぐことができ、スポーツをただプレーするだけでなく、広い視野を持って客観的に捉えることができる。 (3) スポーツの面白さや魅力を存分に味わうために、自分から進んで目標にチャレンジし、フェアプレーや協力、責任ある行動を大切にできる。また、ルールを尊重し、全員が主体的に参加できる環境づくりに前向きに取り組むことができる。	①②③
後期	(1) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (2) ニュースポーツの実践	・スポーツのイベント運営やチーム管理、安全な指導方法などについて、「教える・支える」という視点からテーマを選択。資料調査や現場での体験・実習を通して、スポーツを支える側の役割や工夫について研究する。					